

2025年度

ニチイキッズ近江八幡保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。
また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月13日（火）～2月27日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月27日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人ひとりの気持ちを受容し、子どもの気持ちに寄り添い園全体で「すくすく育つ」保育に取り組めた。
子どもの発達援助	個々の発達を深く理解し、一人ひとりに寄り添った援助をめざした。安心して活動ができるよう必要な手助けや見守りについて職員間で話し合い共通認識をもって関わるよう意識した。その結果、個々の必要な環境について意識できたことで、子ども一人ひとりが「いきいき過ごす」取り組みに繋げることができた。
保護者に対する支援	園生活の様子や、子育ての悩みを、保護者が安心して話していただけるよう個別懇談等を行い、共に成長を喜び合うことが出来た。保育参観（参加）や行事を積極的に行い、今年度はおやつ見学会も行い午後からの子ども達の姿も見て頂き、園生活の様子を見る機会も作った。
保育を支える組織的基盤	保育者の資質向上の為、定期的な園内での会議を行い職員で園児の情報を共有し、話し合える体制が整ってきている。行事等のミーティングも毎週行い、担当任せだけにならないように協力し合った。

総評
小規模保育園という強みを活かし個々への寄り添った保育を行うことが出来た。ただ多忙の為、職員同士のコミュニケーションや行事への準備時間が十分に取れないことがあったのが課題。次年度は協力し合える職員体制の強化を図り、園児にとってより楽しく安心できる園を作っていきたい。例年の課題であった卒園後の転園先の獲得においては、自治体の幼児課と連携し保護者の方にご満足いただける成果が出ているので、継続していきたい。